

1 対 1 ワイヤレスリモート I/O  
ユニット  
取扱説明書

REMIO-02

## 1. 概要

本装置は、お客様の装置間を遠隔にて操作可能とした装置です。2入力2出力の機能を備えています。

外部装置 A からの出力信号を外部装置 B へ入力することが可能です。またその逆も可能です。



## 2. 取付と配線

### 2.1. 電源の接続

電源は AC100~240V をご使用ください。

電源の接続は端子台の表記に従って下さい。

接続端子は次のようなものをお使い下さい。

- 絶縁被覆付き圧着端子
- 端子ねじサイズ M4

### 2.2. アースについて

本製品は、プラスチック製制御 BOX と取付板を使用しております。

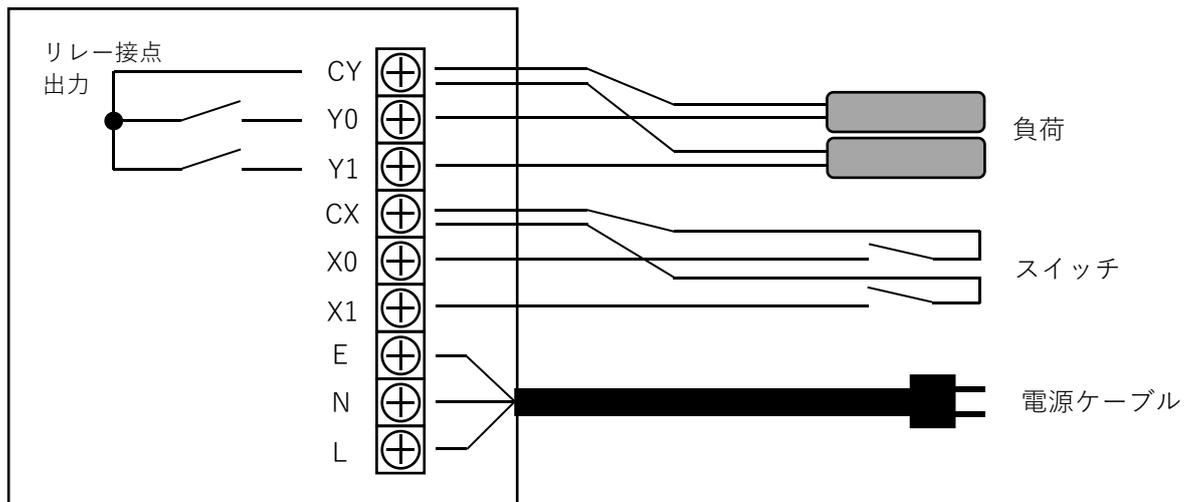
必ず端子台 (E) に電源コードアース線を繋いで下さい。

### 2.3. 端子台について

端子台の配置については下記図を参照して下さい。

名称	機能	備考
AC L	電源入力	AC100~240V
AC N		
E		
X0	入力 1	
X1	入力 2	
CX	入力コモン	
Y0	出力 1	
Y1	出力 2	
CY	出力コモン	

## 2.4. 接続例

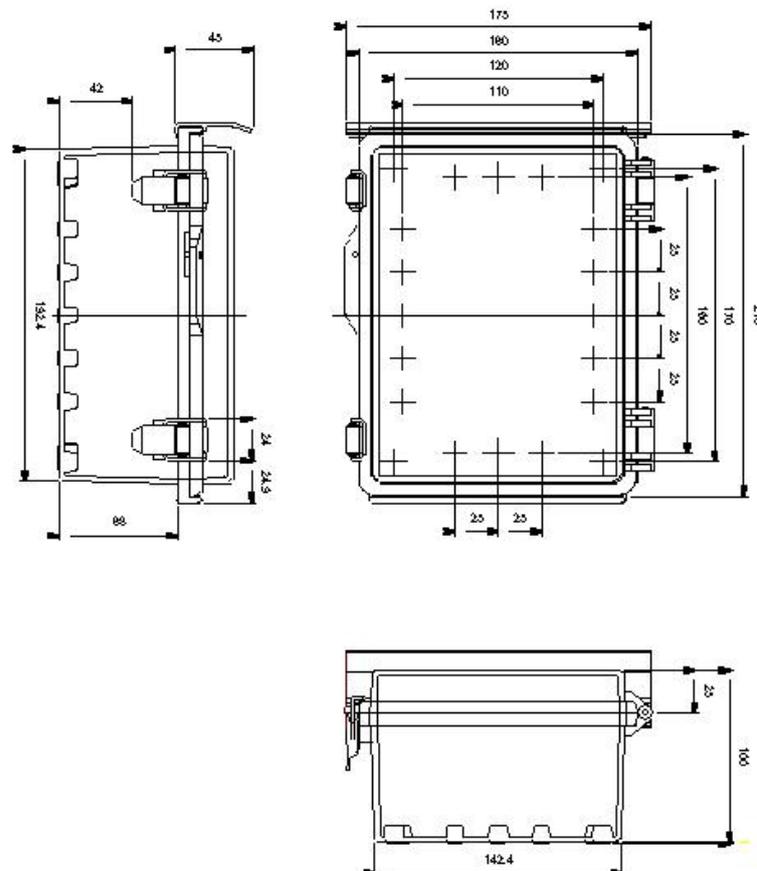


## 2.5. 制御 BOX の取付について

制御 BOX はタカチ工業社製 BCPR162110S を使用しています。

取り付けの際は高温多湿環境はなるべく避け、安定した場所に設置して下さい。

### 外形図





### 3. 初期設定

#### 3.1. 基本的な動作

無線の通信相手はペアリング登録したノードと通信します。  
通信間隔は 1 秒です。

#### 3.2. セグ表示について

##### 1) 電源投入時

電源投入時のみ、設定済み子（スレーブ）数が表示されます。  
この数に対して送受信を行います。

##### 2) 電源投入後

現在の受信ノード数が表示されます。  
親（マスター）：正常であれば 1 になります。  
子（スレーブ）：通常 1 になります。  
ドット表示は無線データを受信する毎に表示を反転します。無線データの受信状況の確認に使用できます。

#### 3.3. スイッチ設定

##### 1) 無線 CH 設定

ロータリスイッチ（CH）を設定してください。  
設定範囲は 1～F です。0 も設定可能ですが、内部的には 1 として扱います。  
近くに同じ基板を別ネットワークで構成している場合は別 CH を設定してください。

##### 2) ノード ID 設定

ロータリスイッチ（ID X10, ID X1）を設定してください。  
X10 は 10 桁目、X1 は 1 桁目です。  
親は 00、子は 01 は子に設定してください。

##### 3) ディップスイッチ設定

4 を ON に設定してください。

番号	名称	内容
1	空き ch 確認モード	設定 ch の電波状態を確認します。 受信された電波強度を無線電波強度 LED に表示します。 通常 2 個は点灯します。 3 個以上点灯している ch の使用は避けてください
2	カウンタクリア	ON 状態でペアリングスイッチを押すと、基板で記憶しているカウンタ値がクリアされる
3	出力保持モード	無線遮断時（1 分間マスターからの受信が無い場合）の動作設定 OFF：出力遮断 ON:出力保持 ※子（スレーブ）のみ
4	1 対 1 モード	1 対 1 モードの場合 ON。 ※設定はマスターのみ

### 3.4. ペアリング

- 1) 空チャンネルの確認
  - a) 親マスター (NODE ID 0) の基板を準備する
  - b) ディップスイッチの1番をONにし、電源を投入し電源を投入する
  - c) 電波強度LEDを確認して、LEDの点灯が2個以下であることを確認する (30秒程度監視する)
  - d) LEDの点灯が3個以上の時は、ch設定を変更しLEDの表示の確認を繰り返す。(電源を投入したまま変更可能)
  - e) ディップスイッチの1番をOFFに戻す事
  
- 2) ペアリング設定
  - a) 全ての基板のch設定、ID設定を行う。ID設定は親(マスター)を00とし、子(スレーブ)は01に設定する。
  - b) 親(マスター)と子(スレーブ)を半径50cm以内に配置する。
  - c) 親(マスター)と子(スレーブ)に電源を投入する。
  - d) 親(マスター)基板のペアリングスイッチを2秒以上押す(ペアリング送信モードになる 7セグが8表示で点滅)
  - e) 子(スレーブ)基板のペアリングスイッチを2秒以上押す(7セグが8表示で点滅)
  - f) 子(スレーブ)基板の7セグ表示が消えればペアリング設定完了

## 4. 動作について

装置からスイッチなどで入力ON/OFFを検知すれば無線通信にて相手側の装置へ出力ON/OFFを行います。2入力2出力で相互に入力および出力が可能です。

出力はリレー接点ですので定格範囲のものをご使用ください。

## 5. 仕様

項目	内容	備考
型名	REMIO-02	
電源電圧	AC100~240V ±10% 50/60Hz	
最大消費電力	10W	
入力	2点 NPN 入力 10mA	
出力	2点 (リレー接点) AC250V 5A(抵抗負荷)、2A(誘導負荷) DC30V 5A(抵抗負荷)、2A(誘導負荷)	
無線特性	対応規格：920MHz 特定省電力無線 (ARIB STD-T108 準拠) 通信距離：500m (屋外見通し) アドホック・マルチホップネットワーク	装置間通信
動作温度範囲	-20~+70°C	結露無き事
外形寸法	幅 160(175)×高さ 21×奥行 100	( )寸法はルーフ使用時の寸法。

## 6. 注意事項

### 6.1. 筐体について

- 筐体を金属製のケースに入れると、電波をさえぎり通信不能になりますので絶対に使用しないでください。プラスチック製のケースでもフィラーなど混合物にご注意ください。